

地域の経済動向(令和5年10-12月期)
《道南(渡島・檜山)地域》

1 経済動向に係る企業等の声(10~12月期)

【製造業】

- ・ 原材料や資材の価格が高騰しているが、小売単価を上げると顧客が離れるので、厳しい状況。イカが獲れなくなったため、イカを使った商品製造を辞める予定。(食料品製造業)
- ・ イカとコウナゴが3~4年前から激減しており、以前にイカが獲れなかった時はニュージーランドやアルゼンチン産で代用できたが、現在はそれも手に入らない。(食料品製造業)
- ・ スルメ塩辛やホッケ切込みなどを生産し、主に催事を中心に販売しているが、試食が条件付きで可能となったので、催事での売上は徐々に回復中。(食料品製造業)
- ・ 作付面積が法人設立時から2倍近くとなっており、設備投資も行い、来年は倉庫を建設する予定。(食料品製造業)
- ・ 急遽人手が必要なときはアプリで短期アルバイトを雇用し、簡単な作業を手伝ってもらっている。(食料品製造業)
- ・ 都内で自社ブランドのサステナブルトマトを販売し、売上が上昇しているが、労働者の確保が難しく、外国人労働者を採用しても、そのための住宅が少ないのが課題。今まで採用していたベトナム人の確保も困難になっている。(植物工場)
- ・ 間伐材を使用した木質チップの活用や、排ガスを光合成に利用することで、カーボンマイナスを目指す。(植物工場)

【卸売・小売業】

- ・ 無濾過ビールを販売しているが、樽ごと冷やさねばならず、扱える飲食店が少ない。輸送コストも大きい。(食料品小売業)
- ・ 乾燥機に使用する重油や、加工に使用する電気代の高騰の影響が大きく、輸送料も高騰しており、今後は2024年問題により原料の到着が遅れることを懸念。(食料品小売業)
- ・ 現在の主要業務は町から受託しているふるさと納税の返礼作業。10月からの制度変更に伴う、駆け込み需要が多かった。(食料品小売業)

【運輸業】

- ・ 燃料費・資材価格の高騰により、厳しい経営状態が続いている。(道路旅客運送業)



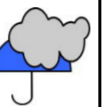



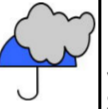

【サービス業】




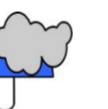



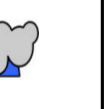







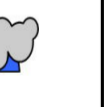
- ・ 調理師が人手不足。業界未経験でかまわないので募集を行っているが、応募がない。(飲食店)
- ・ 人手不足でピザを焼ける調理人が一人しかおらず、ピザの提供日を限定している。(飲食店)
- ・ 自社商品の販路拡大のため、物産展や商談会に積極的に出展したいが、スタッフの人員が限られており、なかなか出展できない。(飲食店)
- ・ 家族経営の自営業者に対する事業承継セミナーを開催してほしい。(サービス業)
- ・ インボイス制度の導入方法がわからない企業が多い。(漁協)

2 道内金融機関から見た地域景況感(10-12月期)

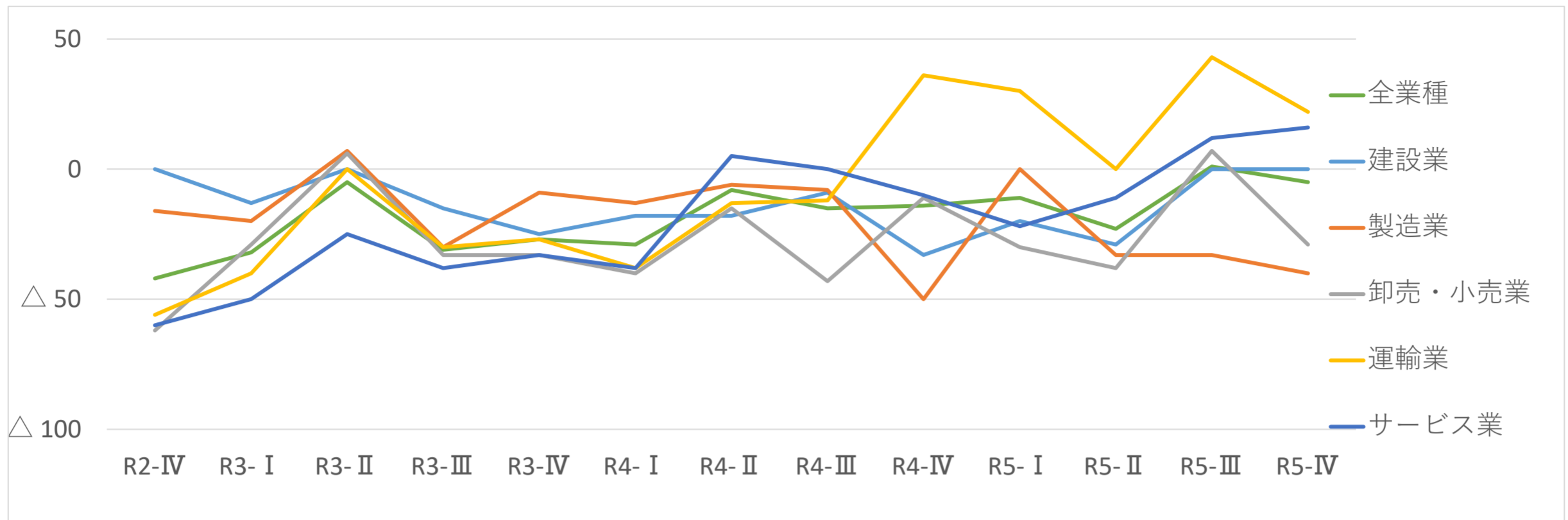
①	②	③	④	⑤	⑥	⑦
非常に好調	好調	やや好調	普通	やや低調	低調	非常に低調
						

【直近の景況感】

	現在の景況感			判断理由	方向感	次期見通し
	総合	生産動向	消費動向			
渡島信用金庫				生産動向については、観光関連等、一部業種において売上は堅調に推移するも、漁業では水揚げが低調であり、原材料や燃料費の高騰から収益性は低調に推移しており、先行きの不透明感からも「やや低調」と判断した。消費動向についても、観光関連の業種に持ち直しの期待感はあるものの、物価高の影響もあり、早期に景況が回復するものではないと思われることから「やや低調」と判断した。		ロシア・ウクライナ情勢や原材料・燃料費の高騰、物価高等、景況感が上昇傾向にあると判断する材料は乏しいものと思われ、各種業種において閑散期に入ることからも、生産・消費動向ともに「変わらない」と判断した。
道南うみ街信用金庫				今期の業況判断DIは、売上額の動きで減少を示し、収益の動きでは増加を示しているが、共に今期の予想よりは大幅な良化となった。インバウンドの回復傾向により概況では良化となり、仕入価格上昇分の販売価格への転嫁により収益改善が図られているが、値上げによる買い控えにより消費の伸び悩みが見られる。総体的には、人手不足感も顕著となっており、業況の改善には当面時間を要するものと見受けられる事から、前期と同様に「やや低調」と判断した。		次期の景況見通しは、概況、売上額の動き、収益の動き全てにおいて減少を予想しているが、仕入価格の上昇・人手不足について緩和予想となっており、インバウンドの回復を受け景気見通しは「変わらない」と判断した。

	R4- I	R4- II	R4- III	R4- IV	R5- I	R5- II	R5- III	R5- IV
渡島信用金庫								
道南うみ街信用金庫								

3 業種別の業況感BSI(企業経営者意識調査)



	R2-IV	R3- I	R3- II	R3- III	R3- IV	R4- I	R4- II	R4- III	R4- IV	R5- I	R5- II	R5- III	R5- IV
全業種	△ 42	△ 32	△ 5	△ 31	△ 27	△ 29	△ 8	△ 15	△ 14	△ 11	△ 23	1	△ 5
建設業	0	△ 13	0	△ 15	△ 25	△ 18	△ 18	△ 9	△ 33	△ 20	△ 29	0	0
製造業	△ 16	△ 20	7	△ 30	△ 9	△ 13	△ 6	△ 8	△ 50	0	△ 33	△ 33	△ 40
卸売・小売業	△ 62	△ 29	6	△ 33	△ 33	△ 40	△ 15	△ 43	△ 11	△ 30	△ 38	7	△ 29
運輸業	△ 56	△ 40	0	△ 30	△ 27	△ 38	△ 13	△ 12	36	30	0	43	22
サービス業	△ 60	△ 50	△ 25	△ 38	△ 33	△ 38	5	0	△ 10	△ 22	△ 11	12	16

4 各種経済指標

